

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成17年2月24日(2005.2.24)

【公表番号】特表2004-504885(P2004-504885A)
【公表日】平成16年2月19日(2004.2.19)
【年通号数】公開・登録公報2004-007
【出願番号】特願2002-515160(P2002-515160)
【国際特許分類第7版】
A 6 1 B 17/58
【F I】
A 6 1 B 17/58

【手続補正書】
【提出日】平成15年3月19日(2003.3.19)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

構成部材を脊椎に対して固定するために用いる用具一式であって、
装具を脊椎に固定する手段、
基部を有する装具であって、装具を脊椎に固定する手段用の係合位置と構成部材を装具に
対して保持する保持位置とを備え、保持位置が装具を貫通する溝によって与えられ、係合
位置が装具を貫通する溝によって与えられている装具、
構成部材を装具の保持位置に保持する手段、および
構成部材を備え、
係合位置が少なくとも保持位置と基部との間の部分に存在していることを特徴とする用具
一式。

【請求項2】
構成部材を脊椎に対して保持するために用いる装具であって、基部を有しているとともに
、装具を脊椎に固定する手段用の係合位置と構成部材を装具に対して保持する保持位置と
を有し、保持位置が装具を貫通する溝によって与えられ、係合位置が装具を貫通する溝に
よって与えられていて、係合位置が少なくとも保持位置と基部との間の部分に存在してい
ることを特徴とする装具。

【請求項3】
基部分が、使用中に脊椎に接触する面を有している請求項1～請求項2の何れかに従う装
具または装具を備えている用具一式。

【請求項4】
装具が、基部から延在する2つの部分を有し、構成部材保持位置が、基部から延在する部
分の間に与えられている請求項1～請求項3の何れかに従う装具または装具を備えている
用具一式。

【請求項5】
構成部材保持位置が、装具の延在部分と基部によって画定された面によって画定されてい
る請求項4に従う装具または装具を備えている用具一式。

【請求項6】
保持位置の溝が、装具の基部から遠い方向で開放している請求項1～請求項5の何れかに
従う装具または装具を備えている用具一式。

【請求項 7】

溝の底が、保持する構成部材に対応する形状／横断面を有している請求項 6 に従う装具または装具を備えている用具一式。

【請求項 8】

装具が、構成部材を保持位置で保持する手段と協働する 1 つまたはそれ以上の部分を備えている請求項 1 ～請求項 7 の何れかに従う装具または装具を備えている用具一式。

【請求項 9】

構成部材を装具の保持位置に保持する手段が、装具に導入されたときに溝の開放頂部を閉じるようになっている請求項 8 に従う装具または装具を備えている用具一式。

【請求項 10】

係合位置が、基部から延在する部分の一方または双方を貫通して装具の端から端に延びる溝によって与えられている請求項 1 ～請求項 9 の何れかに従う装具または装具を備えている用具一式。

【請求項 11】

溝が、基部から延在する部分の上部で閉じた閉溝となっている請求項 10 に従う装具または装具を備えている用具一式。

【請求項 12】

溝が、基部から延在する部分のうちの第 1 の部分の開口と、基部から延在する部分のうちの第 2 の部分の開口から成っている請求項 10 または請求項 11 に従う装具または装具を備えている用具一式。

【請求項 13】

開口が、装具の基部の溝によって接続されている請求項 12 に従う装具または装具を備えている用具一式。

【請求項 14】

溝が、半円形の横断面となっているか、横断面で半円形よりも小さくなっている請求項 13 に従う装具または装具を備えている用具一式。

【請求項 15】

溝が、装具を脊椎に固定する手段の形状に対応するように設計された横断面を有している請求項 13 または請求項 14 に従う装具または装具を備えている用具一式。

【請求項 16】

装具の基部から延在する部分の一方または双方を貫通する開口が、基部に向かって内側に次第に細くなる横断面を有している請求項 10 ～請求項 15 の何れかに従う装具または装具を備えている用具一式。

【請求項 17】

装具を脊椎に固定する手段が、1 本またはそれ以上の針金のような細長い部材となっている請求項 1 ～請求項 16 の何れかに従う装具または装具を備えている用具一式。

【請求項 18】

細長い部材が脊椎の一部に結ばれ、および／または脊椎の一部に巻き付けられるようになっている請求項 1 ～請求項 17 の何れかに従う装具または装具を備えている用具一式。

【請求項 19】

構成部材が、脊椎用の支持部材および／または脊椎用の安定化部材および／または脊椎用の矯正部材となっている請求項 1 ～請求項 18 の何れかに従う装具または装具を備えている用具一式。

【請求項 20】

構成部材を脊椎に対して固定する方法であって、
構成部材を固定しようとする脊椎上の位置に近づくこと、
装具をその位置の近くに用意して装具をその位置に固定手段を用いて固定すること、
構成部材を装具の近くに導入してその構成部材を装具に対して保持することを包含している方法。

【請求項 21】

その後、構成部材を装具から解放し、装具に対する構成部材の位置および／または張りを調整または変化させ、その後、再び保持する請求項 20 に従う方法。

【請求項 22】

脊椎の少なくとも一部を処置する方法であって、

第 3 の態様の方法に従う 2 つまたはそれ以上の装具、および／または第 3 の態様に従う 1 つまたはそれ以上の装具、および全く別の形の少なくとも 1 つの装具を用意し、更に装具に導入して装具によって保持する構成部材を用意して、1 つの装具内の構成部材の位置および／または 2 つの装具間の構成部材の張りが、構成部材を装具に対して保持する第 1 の場合と構成部材を装具に対して保持する第 2 の場合とで異なる方法。

【請求項 23】

構成部材を患者内に閉じ込める際に構成部材を位置決めし、および／または構成部材を緊張させる請求項 22 に従う方法。